

平成27年度から軽自動車税の税率が変わります。

地方税法の改正に伴い、軽自動車税の税率を引き上げます。税率引き上げの年度は、車両の種類や新登録日（初年度検査年月）によって異なります。詳しくは下表をご覧ください。

町民の皆さまには、ご負担をお掛けしますがご理解とご協力をお願いします。

原動機付自転車及び二輪車等

平成27年度分から次のとおりとなります。

種別	税率（年額）		
	現行	改正後	
原動機付自転車	50cc以下	1,000円	2,000円
	50cc超90cc以下	1,200円	2,000円
	90cc超125cc以下	1,600円	2,400円
	ミニカー	2,500円	3,700円
小型特殊自動車	農耕作業用	1,600円	2,400円
	その他	4,700円	5,900円
軽二輪	125cc超250cc以下	2,400円	3,600円
小型二輪	250cc超	4,000円	6,000円

三輪及び四輪以上の軽自動車

種別	税率（年額）						
	現行	改正後【※1】	13年超【※2】				
軽自動車	三輪	660cc以下	3,100円	3,900円	4,600円		
	四輪以上	660cc以下	乗用	営業用	5,500円	6,900円	8,200円
			乗用	自家用	7,200円	10,800円	12,900円
	四輪以上	660cc以下	貨物	営業用	3,000円	3,800円	4,500円
貨物			自家用	4,000円	5,000円	6,000円	

【※1】平成27年度分から税率引き上げ

- 平成27年4月1日以降に新規登録した車両に対し、平成27年度分から新税率を適用します。
- 平成27年3月31日までに新規登録した車両については、下記に該当する場合を除き、現行の税率のままです。

【※2】経年車に係る重課税率について（平成28年度分から）

グリーン化を進める観点から、新規登録（自動車検査証に記載されている初年度検査年月）後13年を経過した軽四輪車等について、平成28年度分より表記の税率に変わります。

【問い合わせ先】

山都町役場 税務課 TEL 72-1128（直通）

自然の中で豊かに育つ子どもたち

矢部郷自然観察会 代表 藤吉 勇治



6月21日に予定した白糸地区での「棚田の生きものたち」観察会は、雨天のため中止。白糸の棚田で、観察会は、十数年前から



予定していた観察会の一週間前、観察所の下田さんの田んぼで下見をした。代掻きが終わった田んぼには、生きものたちが集まり始めていた。その田んぼの横には、地域の自治振興区で作られたビオトープ（生物生息空間）の池がある。どんな生きものが見えるか観察してみよう。

ら続けている。ご存じの通り、白糸台地は通潤橋によって水が送られたことで水田が開かれた。その面積は、通潤橋架橋以前と比べると百倍以上（約1000反）になったと言われている。さらに白糸地区は、有機農業に取り組み地域でもある。白糸の棚田には、現在、全国で姿を消しつつある生きものたちが数多く生き残っている。その代表は、絶滅危惧種のゲンゴロウの仲間が4種類生息している。また、準絶滅危惧種とされているコオイムシや、トノサマガエル、アカハライモリなども多く、互いにつながり合っている。

この時期、田んぼにカエルなどが集まり始めると、タカの仲間のサシバが海を渡って日本にやって来る。サシバも現在絶滅の危機にある。そして、田んぼの豊富な生きものたちを食料にして次の世代を育てる。

た。最初に見つけたのは、水の中を泳ぎ回っていた大型のゲンゴロウだ。ゲンゴロウの仲間では一番大型の種類で、しかも数匹いる。タイコウチも姿を見せた。何種類もの水生昆虫を確認できた。

観察会当日は、これらの生きものたちを子どもたちに見てもらいたいと思っていたのだが、実施できず残念だった。観察会は、秋に再び下田さんの田んぼで行う予定だ。そのときを楽しみにしてほしい。

山都警察署・署協議会だより

山都警察署 TEL72-0110

熊本県警のホームページ
http://www.police.pref.kumamoto.jp/
管内の犯罪・交通事故の発生状況、
県警からのお知らせ等が掲載中です。

第1回山都警察署協議会開催

6月20日（金）、山都警察署において本年度第1回目の警察署協議会を開催し、警察署から平成26年中の熊本県内及び山都町の犯罪情勢や交通事故の発生状況並びに今後の取組みについて説明を受けました。また、5人の若手警察職員による意見発表を聞き、安全・安心な山都町づくりに尽力されている姿勢が強く感じられ、有意義な協議会となりました。



<協議会の状況>



<意見発表の状況>

警察通信指令・無線通話技能大会第2位

6月19日（木）、県下23警察署46人による上記大会が、熊本県警察本部で行われ、山都警察署チームが第2位という好成績を収めました。この大会は、110番通報を受けた警察署の指令係と現場警察官役の2人1組で、指令内容の適正さや事情聴取要領等について技能を競うもので、第2位という成績は、山都警察署始まって以来の快挙です。今後も、警察の命とも言える無線通話の更なる技能向上に努めていきます。

犯罪・交通事故発生状況（山都町）

事件・事故	平成26年6月末
刑法犯	27件(21件)
人身交通事故	15件(23件)

※()内は昨年同時期の発生状況

警察署協議会審議事項

- 平成26年5月末日現在の山都町の刑法犯の認知件数は24件（前年比+7件）で、器物損壊、暴行・傷害、乗り物盗が増加している。
- 平成26年6月17日現在、山都町内で交通人身事故が13件（傷者15人）発生しており、昼間の国道における事故、高齢者が関係する事故、追突事故が多く発生している。
- 高齢者被害にかかる特殊詐欺被害防止、窃盗事件や強盗事件の防止対策、DV・ストーカー事案への適切な対応、防犯講話等を継続して実施する。
- 登山者の安全確保、女性警察官の効果的運用、雑踏警備（祭警備）への的確な対応を実施する。

など

矢部高校生による警察署花壇整備

5月30日（金）、矢部高校の2年生14人が約200株ものサルビアの花を、警察署の花壇に植えていただきました。美しい花々が署員や来庁者の目を楽しませています。矢部高校の皆さん、ありがとうございました。

